allcinema

サブウェイ１２３　激突（2009）

THE TAKING OF PELHAM 1 2 3

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　105分
初公開日 2009/09/04
公開情報 ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント
映倫　G

【キャッチコピー】
123号車、応答せよ――
要求は何だ？

この車両ひとつで、
ＮＹはハイジャックできる。

【解説】
　デンゼル・ワシントンとジョン・トラヴォルタの豪華２大スターを主演に迎えたクライム・サスペンス。ジョン・ゴーディのベストセラー小説を原作に、1974年の「サブウェイ・パニック」に続いて再映画化。ニューヨークの地下鉄を白昼堂々ハイジャックした凶悪犯と、その交渉相手に指名された地下鉄職員との息詰まる駆け引きの行方を緊迫感溢れるタッチで描く。監督は「トップガン」「スパイ・ゲーム」のトニー・スコット。
　ニューヨーク、午後２時。地下鉄運行指令室で勤務中のガーバーは、緊急停車したペラム駅1時23分発の列車へ応答を促す。その列車は、19名が乗車した１両目だけを切り離して停車している状態だった。すると、無線で応答してきたライダーと名乗る男から、“この１時間で市長に身代金1000万ドルを用意させ、期限に遅れた場合は１分ごとに人質をひとりずつ殺していく”との要求を告げられる。さらに、ライダーは交渉相手に何故かガーバーを指名。ところが、警察が指令室にやって来ると、ガーバーはある理由で退席させられてしまう。しかし、ガーバーが席を離れたことを知ったライダーは激怒、運転士を射殺し、ガーバーを強制的に交渉役へ戻させる。こうしてガーバーは警察のサポートのもと、粘り強く交渉を続けながら人質解放と事件解決への糸口を探っていくのだが…。

【クレジット】

監督	トニー・スコット	Tony Scott
製作	トッド・ブラック	Todd Black
	トニー・スコット	Tony Scott
	ジェイソン・ブルメンタル	Jason Blumenthal
	スティーヴ・ティッシュ	Steve Tisch
製作総指揮	バリー・ウォルドマン	Barry Waldman
	マイケル・コスティガン	Michael Costigan
	ライアン・カヴァナー	Ryan Kavanaugh
原作	ジョン・ゴーディ	John Godey
脚本	ブライアン・ヘルゲランド	Brian Helgeland
撮影	トビアス・シュリッスラー	Tobias Schliessler

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

プロダクションデザイン	クリス・シーガーズ	Chris Seagers	
衣装デザイン	レネー・アーリック・カルファス	Renee Ehrlich Kalfus	
編集	クリス・レベンゾン	Chris Lebenzon	
音楽	ハリー・グレッグソン＝ウィリアムズ	Harry Gregson-Williams	
出演	デンゼル・ワシントン	Denzel Washington	ウォルター・ガーバー
	ジョン・トラヴォルタ	John Travolta	ライダー
	ジョン・タートゥーロ	John Turturro	カモネッティ警部補
	ルイス・ガスマン	Luis Guzman	レイモス
	マイケル・リスポリ	Michael Rispoli	ガーバーの上司ジョンソン
	ジェームズ・ガンドルフィーニ	James Gandolfini	ニューヨーク市長
	ベンガ・アキナベ	Gbenga Akinnagbe	
	ジョン・ベンジャミン・ヒッキー	John Benjamin Hickey	
	ヴィクター・ゴイチャイ	Victor Gojcaj	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.